

## 広重と北斎の東海道五十三次と浮世絵名品展―歌麿・写楽から幕末バラエティーまで 会 期 2009年2月7日(土)～3月29日(日)

浮世絵は、江戸時代に遊里や歌舞伎の“浮世”を題材として誕生し、時勢や流行を伝える情報媒体として広く庶民に親しまれました。その後、人々の嗜好を反映して美人画や役者絵、風景画などへジャンルを拡大するとともに、版画技術はより精緻で多彩な表現へと進歩を遂げ、流麗かつ強靱な刻線と斬新な色彩感覚は世界的にも高く評価されています。本展覧会では、浮世絵風景画を代表する歌川広重と葛飾北斎の《東海道五十三次》に、広重《五十三次名所図会》を交え、日本橋から京都へ向かう旅模様をご紹介します。おらかな旅人の歩みが、宿場の賑わいや厳しくも豊かな自然の情景とともに楽しみいただけることでしょう。

また、浮世絵黄金期に活躍した喜多川歌麿らによる美人画、謎の浮世絵師・東洲斎写楽の役者絵のほか、奇想天外な物語をテーマとした「妖怪絵」、ジグソーパズルのような「寄せ絵」など、江戸人の粋な遊び心を感じさせる幕末期の作品まで、約220点を展示します。日本独自の文化であり、江戸時代に庶民文化の花として隆盛を極めた、バラエティ豊かな浮世絵の世界をご堪能ください。

会 場	高崎市タワー美術館 (370-0841 高崎市栄町 3-23 電話 027-330-3773)
時 間	午前10時～午後6時 (入館は午後5時30分まで) 金曜日のみ午前10時～午後8時 (入館は午後7時30分まで)
休 館 日	月曜日 (祝日の場合は開館し、翌日休館)、2/12 会期中の休館日：2/9・12・16・23、3/2・9・16・23
観 覧 料	一般：500円 (400円)、大高生：300円 (250円)、中小生：200円 (150円) <ul style="list-style-type: none"><li>● ()内は20名以上の団体割引料金</li><li>● 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方1名、65歳以上の方、未就学児は無料となります</li><li>● 毎週土曜日、小中学生は無料となります</li></ul>
主 催	高崎市タワー美術館
後 援	朝日新聞前橋総局、産経新聞社前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞東京本社前橋支局、群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎
監 修	中右 瑛
企画協力	E.M.I ネットワーク

### 関連事業

- 講演会 「広重・北斎のミステリー」 国際浮世絵学会常任理事・中右 瑛 3/14 14:00～
- 作品解説会 2/7、2/21、3/28 14:00～